

新しい研修医を紹介します!



研修医
(1年目)
きはら ゆうすけ
木原 悠助

多可郡多可町中区出身で、高校は小野高校、大学は徳島大学に通いました。地元の西脇で研修を行うことができ、とても嬉しいです。よろしくお願いいたします。



研修医
(1年目)
むらかみ かずひで
村上 和秀

加西市出身です。西脇高校を卒業してから福井大学に進学しましたが、初期研修で再び地元に戻ることができ、嬉しく思っています。よろしくお願いいたします。



研修医
(1年目)
ふじい りょうへい
藤井 涼平

三木市出身で、神戸大学を卒業しました。西脇市の印象は「日本のへそ」という印象がよいです。美術部に所属していました。イラストを描いたり、ゲームをしたりすることが好きです。



研修医
(1年目)
むらた かずま
村田 一磨

神戸市出身、兵庫医科大学出身です。西脇市の印象は「日本のへそ」ということや、播州ラーメンが美味しいこと、鶏肉が美味しいことです。マイブームは、冷凍で届くNoshを食べること。好きな事はゴルフです。ゴルフが好きな先生は、ぜひぜひ誘ってください。



研修医
(1年目)
さかい あきら
坂井 陽

姫路市出身で、神戸大学卒です。西脇といえば、陸上のイメージが強いです。大学時代はソフトテニス部に所属していました。登山やダイビングなどのアウトドアが趣味です。



研修医
(1年目)
もりうち けいすけ
森内 啓介

神戸大学から参りました。出身は川西市です。趣味は野球観戦です。阪神タイガースを応援しています。西脇ではじめての夕食は、やきとりでした。すごく美味しかったです。



研修医
(1年目)
ひさと はるか
久斗 悠華

姫路市出身、兵庫医科大学卒業です。中学・高校とソフトテニス部に所属していました。この春、西脇市に引っ越してきたのですが、周りに美味しいラーメン屋さんがたくさんあって、とても嬉しいです。よろしくお願いいたします。



患者総合支援センターだより
2023年9月発行

西脇市立西脇病院
〒677-0043 兵庫県西脇市下戸田652番地の1
TEL: 0795-22-0111(代表)

患者総合支援センター 直通
TEL: 0795-22-8270
FAX: 0795-23-4580

西脇市立西脇病院 Nishiwaki Municipal hospital

患者総合支援センターだより

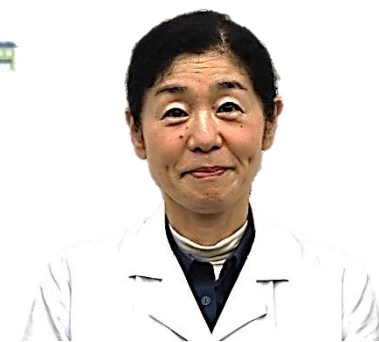


NIHONNO HESONOŌ

HP: <https://www.city.nishiwaki.lg.jp/hospital>



患者総合支援センター長 就任のごあいさつ



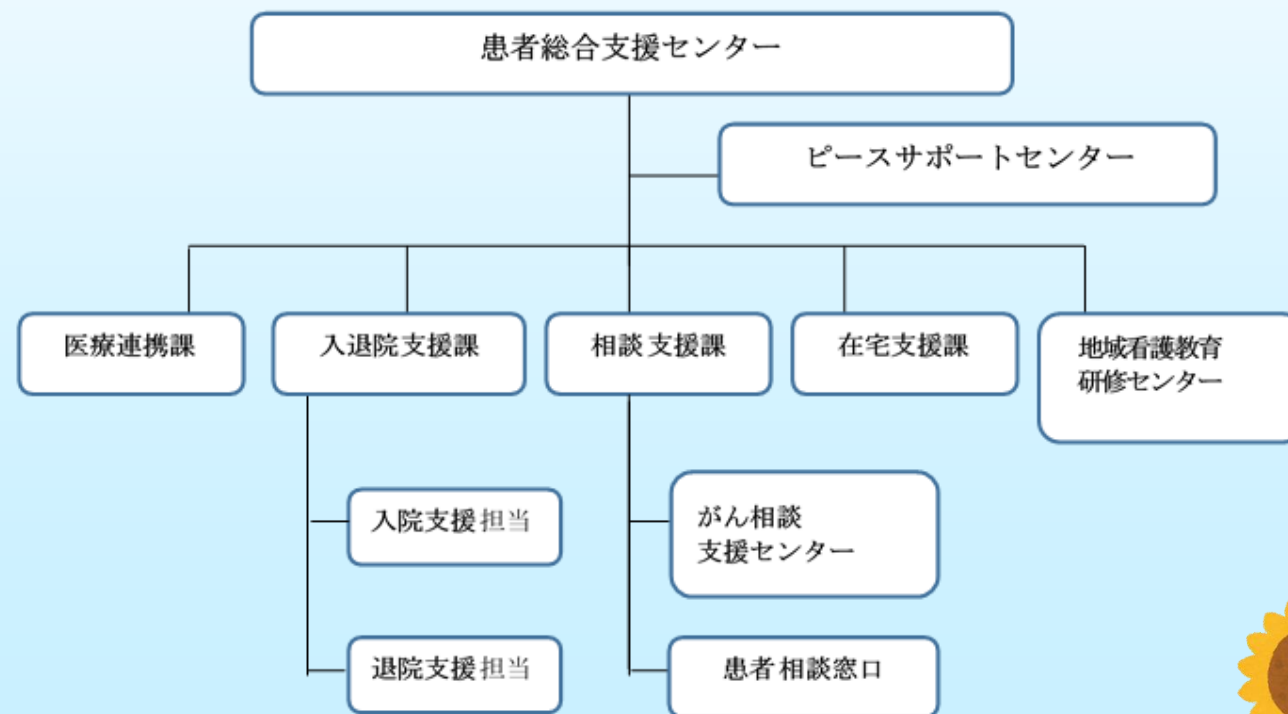
患者総合支援センター長
たけち みほ
武地 美保

患者総合支援センター センター長の武地です。

患者総合支援センターは、以下の4つの課、3つのセンター及び入院支援、退院支援、患者相談窓口を担当しています。

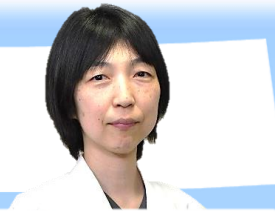
『地域に信頼される良質な医療の提供』の理念のもとに、ご紹介いただいた患者さんやご家族が安心して外来受診と入院治療を受けられるように、幅広い相談窓口として頑張っています。

これからも患者さんへの切れ目のないケアをつないでいくため、地域の連携を進めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。





消化器内科のご紹介



内科部長 ひらた たまき
平田 珠希

消化器内科では消化管疾患、肝胆膵疾患に対し、以下のような診療を行っています。

＜消化管疾患＞

- ・機能性疾患に対する薬物療法
- ・炎症性腸疾患に対する薬物療法(生物製剤を含む)、白血球除去療法
- ・胃・大腸腫瘍(早期癌を含む)に対するEMR、ESD
- ・癌に対する抗癌薬物療法、放射線治療
- ・消化管出血に対する緊急止血術 ※
- ・静脈瘤に対する内視鏡的治療(内視鏡的結紮術、内視鏡的硬化療法) ※

＜肝胆膵疾患＞

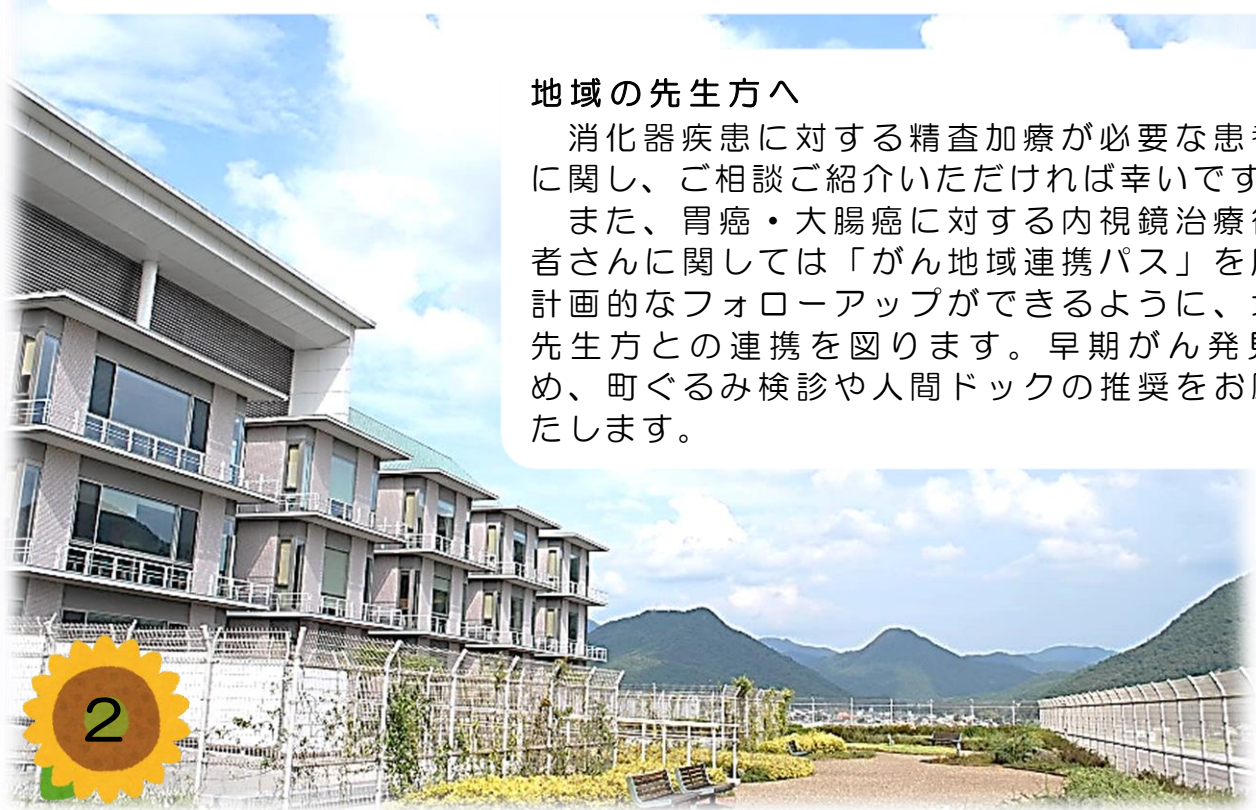
- ・肝疾患に対する精査(肝生検を含む)と治療
- ・急性胆嚢炎・胆管炎、急性膵炎などに対する治療(PTGBD、ERCP、集中治療管理) ※
- ・悪性胆道閉塞に対するERCP、PTCD(ステント留置) ※
- ・胆膵疾患に対する超音波内視鏡検査
- ・肝細胞癌に対するラジオ波焼灼療法などの経皮的治療、肝動脈塞栓術
- ・癌に対する抗癌薬物療法、放射線治療

以上のような診療を消化器外科、放射線科と連携し行っています。
※に関しては、夜間休日の救急対応も可能です。

地域の先生方へ

消化器疾患に対する精査加療が必要な患者さんに関し、ご相談ご紹介いただければ幸いです。

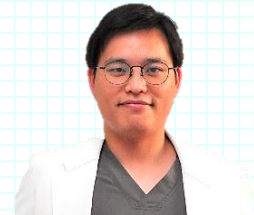
また、胃癌・大腸癌に対する内視鏡治療後の患者さんに関しては「がん地域連携パス」を用い、計画的なフォローアップができるように、地域の先生方との連携を図ります。早期がん発見のため、町ぐるみ検診や人間ドックの推奨をお願いいたします。



内科医員

ひやくどう てるあき
百道 光亮

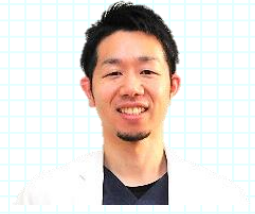
北播磨総合医療センターより派遣で半年間お世話になります。呼吸器を専門としています。若手らしくフットワークを活かして、診療に励みます。よろしくお願いいたします。



脳神経外科医員

いけお りょうすけ
池尾 諒介

医師3年目です。昨年までは研修医として、西脇病院で、お世話になっていました。今年度からは、脳神経外科を専攻させていただきます。研修医で2年間、西脇に住み、とても良い所だと実感しました。今年度も、この町に残れて嬉しいです。今後とも、よろしくお願いいたします。



外科医員

しらかみ なおと
白神 直人

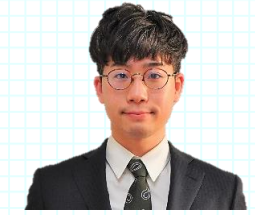
卒後8年目です。加古川市出身で、昨年度は、神戸大学医学部附属病院に在籍していました。消化器外科専門ですが、広く様々なことが経験できればと思います。よろしくお願いいたします。



外科医員

なかぐち ゆうた
中口 雄太

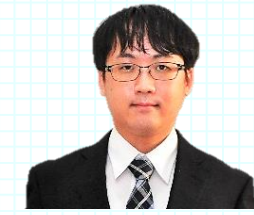
医師4年目です。初期研修を西脇病院でお世話になり、豊岡病院で外科医として1年間勤めました。至らない点が多々あると思いますが、精一杯頑張ります。



整形外科医員

しま としき
島 稔樹

はじめまして。今年度4月より西脇病院にまいりました。卒後5年と若輩者ではございますが、一生懸命診療させていただきます。よろしくお願いいたします。



皮膚科医員

ながまつ なおき
永松 直樹

神戸大学医学部附属病院で2年間の初期研修の後、本年度より、皮膚科専攻医の道を歩み始めました。まだまだ未熟者ですが、何卒よろしくお願いいたします。



新しい研修医(1年目)の紹介は、次ページにあります。

新しい 医師 を紹介します！



循環器内科部長

かわい けいすけ
河合 恵介

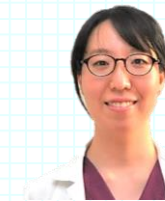
私は小野市出身で、神戸大学平成4年卒で、循環器内科学講座に入局し、心不全・心エコーが専門です。20年余り市立加西病院に勤務し、4月から西脇病院に赴任しました。



内科医長

かない だいすけ
金井 大輔

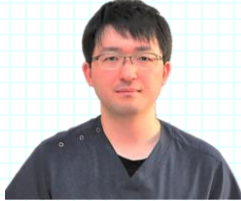
5年ぶりに西脇に帰ってまいりました。現在10年目で、専門は腎臓領域です。尿たんぱくや腎機能異常など、気軽にご相談ください。これからよろしくお願ひ申し上げます。



内科医員

やすい ゆみ
安井 裕美

医師8年目で呼吸器内科を専門としています。3年前にも西脇病院でお世話になりました。また、この病院で働けることを嬉しく思っています。何卒よろしくお願ひします。



内科医員

あらい なおき
新井 尚樹

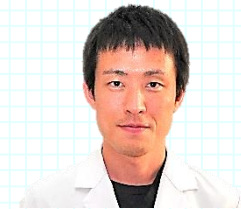
医師7年目で、前任地は明石医療センターで糖尿病内分泌内科に所属していました。至らぬ点も多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



内科医員

かみよしかわ だいすけ
上吉川 泰佑

医師5年目です。昨年は朝来医療センターにいましたが、それ以外の3年間は西脇病院で勤務していました。糖尿病を特に勉強していくつもりです。終末期医療にも関心があります。よろしくお願ひします。



内科医員

とだ けんさく
戸田 憲作

後期研修3年目、消化器内科専攻です。半年間と短い間ですが、西脇病院で働かせていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。



内科医員

かしわぎ ゆうき
柏木 祐希

内科専攻医1年目です。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひいたします。



内科医員

なかた ゆうや
中田 有哉

後期研修2年目、前任地は兵庫県立はりま姫路総合医療センター、消化器内科専攻です。半年の間、西脇病院で働かせていただきます。何卒よろしくお願ひいたします。

当院の周産期対応について

産婦人科 部長 野村 和久



西脇病院は地域医療支援病院、がん診療拠点病院として機能しており、その中で北播磨北部地域における唯一の急性期総合病院としての周産期医療を行っています。

他科と連携することができる総合急性期病院の特色を生かして、合併症妊娠から出産まで幅広い対応をさせていただきます。

このような高度な周産期医療を提供できる背景として、24時間365日体制で小児科医、麻酔科医が待機しております。

また、妊娠糖尿病などの内科疾患合併症妊娠は内科専門医と連携して検診をすすめています。

特に、小児科と深く連携した周産期医療を行っており、いつも小児科の先生方に迅速な対応をしていただき、生まれてくる赤ちゃんに対しても高度な専門医療を提供できる体制を整えています。

妊婦健診においては、2012年度より胎児スクリーニングエコー（胎児頭部神経系および胎児心臓エコー）を導入し、胎児に対して何らかの合併症が考慮される場合には、迅速な高次機能・周産期センターへの紹介も行っています。

また、2020年4月より一般不妊治療を開始しており、これまで以上に周産期医療が充実してきました。

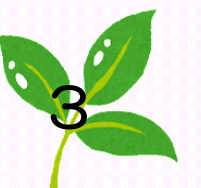
当科で行えるのは施設基準の観点から一般不妊治療の領域までですが、多くの患者さんが一般不妊治療での妊娠を期待できます。

一般不妊における検査・治療を行い、体外受精などの高度不妊治療が必要な患者さんがいらっしゃる場合は、当科より信頼のおける高度不妊治療施設への紹介もスムーズにしています。

昨今の産婦人科医不足の影響で（現在もなお一層深刻化しています）、近隣病院の産婦人科は相次いで閉鎖となり、当院も常勤医2名で外来、分娩、手術等、多岐にわたる業務を行っています。

そのため当院の産婦人科は大変混雑しており、外来の待ち時間や手術予定の待機をしていただき、患者さんには大変ご迷惑をおかけしています。

そんな状況下に置いても、可能な限り北播磨北部地域における唯一の急性期総合病院としての周産期医療を提供していきたいと考えていますので、引き続き当院産婦人科をよろしくお願ひいたします。





生み・生まれる力、はぐくむ力を最大限に

当院では、合併症のない妊婦からハイリスク妊婦まで、すべての妊婦さんが、安心・安全にかけがえのない命の誕生を迎え、その後の育児においても自信をもって向き合えるよう、医師・周産期スタッフ・薬剤師・栄養師・検査技師などが連携し、細やかな支援の充実に向けてサポートしています。また、地域との連携をいただきながら、「生み・生まれる力、はぐくむ力を最大限に引き出すあたたかな支援」を大切に、地域のニーズに応え、信頼される安心・安全な周産期医療の提供を目指しています。

妊娠～出産における支援

外来では、妊婦の思いに寄り添い、顔の見える関係性の構築を目指しています。

毎回の妊婦健診では、何でも相談できる助産師相談を行っています。助産師は、胎児の成長を共に喜び、妊娠期から一人一人の産後の生活を想定しながら、安定した妊娠経過に向けた関わりを行います。このような関わりにより、妊婦さん自身がどのように児の誕生を迎えたいか、自身のバース plan が明確になり、分娩という目標に向かって意欲的に過ごすことが可能となってきます。

また、胎児の様子を 4D エコーで見ることができ、わが子の成長を実感しながら、家族の誕生を楽しみに妊娠期を過ごすことを目指します。

分娩時の入院では、外来と入院棟の連携により、外来で担当したスタッフが、入院中も引き続き担当させていただきます。また、24 時間 365 日、院内に助産師が勤務しており、緊急時や、予測できない分娩の開始時には、安心して入院いただけます。

当院の分娩期支援は、COVID-19 感染状況を鑑み、立ち会い分娩を中止していましたが、このたび再開いたしました。医療設備体制が整った中で、産婦とその家族が主体となって、かけがえのない命の誕生に向き合える環境を提供しています。

命の誕生を安全な環境で迎えられるよう、分娩入院に際して次のことにご理解とご協力をお願いします。

- ・分娩立ち会いは1人のみ
- ・健康チェック表への記載（妊娠 38 週目～分娩までの間）



分娩時には、妊婦さんのその時々の楽な姿勢を選択して、フリースタイルでの出産が可能です。生まれくる児と産婦さんの持てる力の発揮に向け、助産師主体の支援を行っていますが、経過において異常に傾くことが予測される時には、産科・小児科医師と連携し、安全に分娩でき、心身ともに負担なく育児へのスタートが開始できるようエンパワメントしています。児の誕生後は速やかに母児の早期接触を開始し、児の吸啜欲求を確認出来次第、自然な形でのスタートを、助産師が寄り添いながら、母乳育児開始のお手伝いをしています。

児に対しては、胎外生活への適応が順調に経過できるよう、小児科医師が日々の診察を行い、あたたかな心で見守りながら、導いてくれます。

また、母体の産後の回復を見守りつつ、退院後の生活を考慮し、順調に、母親へと成長していけるよう、ケアを提供しています。そして、必要な情報やケアを提供できるよう、支援の充実にむけ、取り組んでいます。

この命を
守りたい。



産後母乳外来・子育て支援

産後においても、切れ目のない継続支援の提供に注力しています。

退院後の生活において、体調や育児に関する不安が生じた際には、周産期スタッフによる電話相談を行っています。

母乳外来の定期開催（毎週火・木曜日）を行い、子どもの成長を共に喜び、母乳育児を支援し、子育てに対する不安を軽減し、心身の健康を目指しています。母乳外来では、母乳で育てたいけれど、方法がわからない、乳房ケアを受けたい、乳腺炎のケアが必要など、支援が必要な方々に対して、幅広いサポートを提供しています。地域や乳腺外科・小児科など、他科と連携しながら、細やかな支援を提供することを心掛けています。母の思いを大切に、育てる力を引き出し、育児への自信につながるよう、児の持つ力を引き出し、母の育てる力を支援しています。

さらに、乳腺炎などの緊急対応が必要な乳房トラブルに対しては、24 時間体制で相談していただけます。

総合急性期病院にある産科として、地域の皆様に信頼される周産期医療の提供に向け、全力を尽くします。今後もよろしくお願ひいたします。

